

不登校支援について③ 不登校の実態調査から見える不登校支援の課題

舟木けんじ市議 一般質問③

舟木けんじ市議は6月議会一般質問で不登校支援をとりあげました。

舟木市議は「誰一人取り残されない学びの保障は喫緊の課題」と指摘し、「今年度予定の『オンライン支援事業』



舟木けんじ市議

導入にあたって実施された不登校児童生徒とその保護者への実態調査から見える不登校支援の課題は何か」「今後の支援策にあたって不登校当事者、親、学校内外の支援者の意見が十分反映されたためのアンケート調査や意見交換会が有効ではないか」と市教委の見解を質しました。

成相和広副教育長は、小学校低学年からの不登校増加に対応する早い段階からの対応、思春期における不登校に対し

マイナンバー今こそ見直しを

たちばなふみ市議 一般質問③

たちばなふみ市議は、6月議会でも4項目の一般質問をしました。「マイナンバー制度について」を報告します。

たちばな市議は松江市の状況全国のトラブルについて市の認識を質しました。

また改正法により決まったマイナ保険証への一本化は、何の問題もない健康保険証を来年度に廃止し、マイナンバー17条の規定「任意取得の原則」をゆがめマイナカード取得を強制するものです。

全国的にトラブルが相次いでいる中、改正マイナンバー法等が6月2日に成立。マイナ保険証の誤登録が7312件(22年11月末)あると今年の5月に発覚、医療・年金情報、公金受取口座などで別人の情報が大規模に紐づけられていたこともわかりました。



たちばなふみ市議

たちばな市議は「マイナ保険証は2021年10月から医療機関の窓口で利用されているが、60%以上の医療機関でトラブルがあったと報道されている。市内の医療機関でも現在でも窓口対応が大変、介護施設ではマイナ保険証になれば暗証番号の管理をどうするのか、とても対応できない

スクールカウンセラーなど本人がつかねられる人材の活用、不登校支援事業や関係施設の認知度の低さに対する情報提供の工夫、保護者のニーズが高い双方の通信や学習支援となるようタブレット端末を支援ツールとするノウハウの蓄積・共有などが必要と述べ、「どこにもつながらない子どもをなくすことを最優先にとりくみたい」「今回調査の回収率では当事者の実態や意見が十分反映されていないため、継続的に調査を実施しアプローチを続けたい」「学校内外の支援者に対するアンケート調査や意見交換会についても検討する」と答弁しました。

との声がある」と指摘し、健康保険証の廃止について市の見解を質しました。

松原正健康福祉部長は「健康保険証を廃止しマイナ保険証を導入することはメリットがあると捉えているが、国においてセキュリティを確保し安定的に稼働させることが重要」と答えました。

たちばな市議は「そもそもマイナンバー制度は国が市民の情報を管理することを目的としている。年金、健康保険、所得税、住民税、雇用保険、特定健診結果、ワクチン接種記録、預貯金口座、公金受取口座に加え、今後戸籍情報、母子手帳や免許証、そして32の国家資格といった情報が管理され、個人情報利活用される危険な制度。この機会に改めて立ち止まるべき」と訴えました。

美保基地視察ツアーへ 沖縄と連帯する島根の会



大型輸送機C-2機内を視察した参加者の皆さん

沖縄と連帯する島根の会が7月18日に美保基地視察ツアーを行い、島根県下から会員など24名が参加、たちばなふみ市議、安田共子境港市議が事前説明を行いました。むらほえりこ予定候補も同行しました。行きの車中で中林佳子事務局長(元衆院議員)が司会を務め、高野孝治会長が挨拶、たちばな市議が、訓練コースの真下である八束町の基地闘争の歴史の一端と騒音被害、小中学校や支所のある島の中

心部が目撃物になっている実態、部品落下問題等について報告しました。その後、象の檻とよばれる美保通信所の前で立地市の安田市議が基地問題の概要、美保基地の歴史等について説明しました。

現地では管制塔から基地全体を、東西南北方向それぞれにむかつて説明を受けた後、資料館会議室で美保基地の概要説明、C-2大型輸送機内に乗り込んで説明、KC46A空中輸送機は整備中のものを見ながらパイロットから説明を受けました。途中体験喫食も挟み、美保基地内で活動する90名の隊員の生活を垣間見ることもできました。

説明箇所の全てで多くの参加者から熱心な質問が出ましたが、特に、会として配備しないよう県に申し入れも行った、空中給油機KC46Aについての質問が多く出ました。KC46AのKは燃料、Cは輸送を示します。現在配備された2機は現在運用試験中、運用試験とは、安全に給油できるか整備を行い洋上(日本海)に出て、15分間給油を受ける側の機体と67メートルの近距離に並んで時速800キロで飛行する等の訓練。現在はベテラン同士で訓練しているが、かなりの技術が必要なため米軍で訓練してきた者ばかりであることなどが質疑で明らかになりました。

視察を終え中林事務局長は、「今回の視察は、岸田内閣のもと急ピッチに進められている「自衛隊基地強靱化計画」



車中で事前説明を行う安田市議、たちばな市議と中林佳子事務局長



右から安田市議、むらほ予定候補、たちばな市議